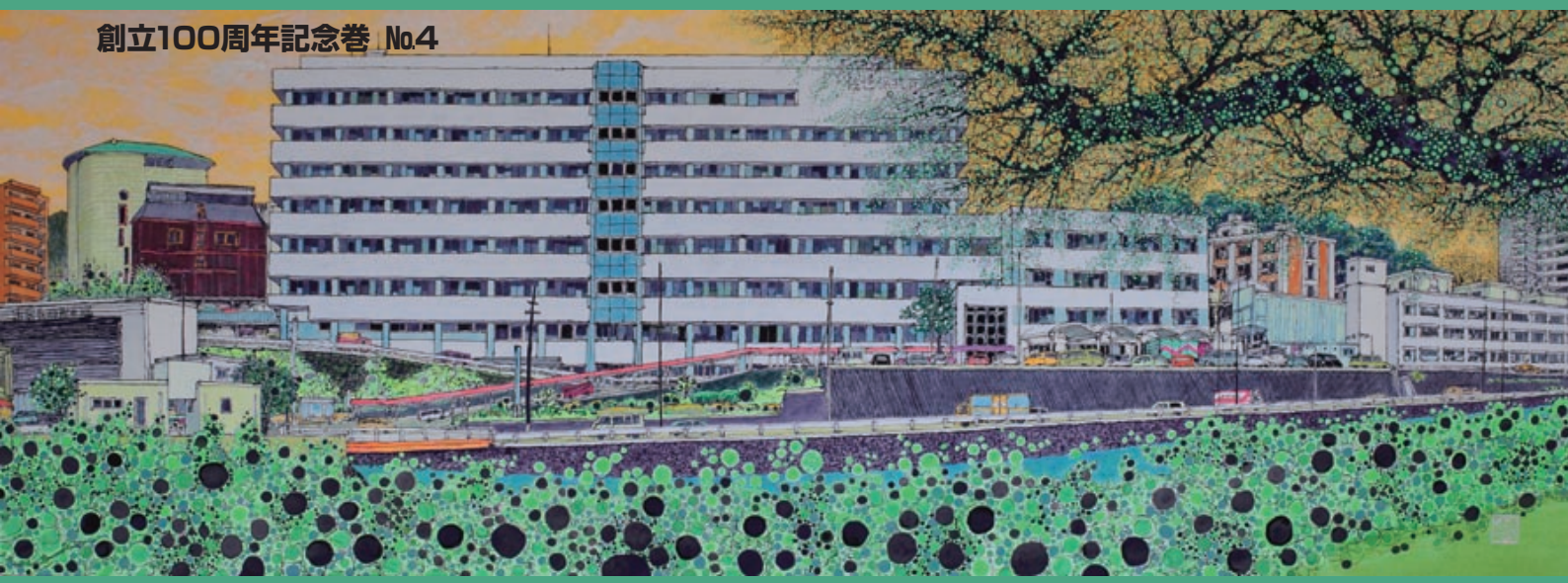
国家公務員共済組合連合会
佐世保共済病院 広報誌

きょうさいだより

2011
vol.11
第4号

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



『共済百年』

作 馬場 忍 様

INDEX

●ごあいさつ　院長 木寺 義郎……1
● 100 周年記念講演会（第 3 回）開催報告
●創立百周年記念式典・祝賀会を終えて……2
●診療活動の現況 ― 病理診断科 ―（2）……3
●新採用医師の紹介　●HCU(高度治療室)が開設されました…5
●「YOSAKOI させぼ祭り」救護班に参加して
●地域医療連携室より　●年末年始当直体制……6
●編集後記
●外来診療担当表……7

佐世保共済病院の理念

博愛の精神　人の和　自己研鑽

基本方針

1．地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2．他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3．新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4．それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5．病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。

〒857-8575　長崎県佐世保市島地町 10 番 17 号　TEL0956-22-5136 ㈹
紹介受付専用 FAX（医療連携室）**0120-12-2067**　HP http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp
急患室直通 FAX 電話 **0956-22-6052**　㈹ FAX**0956-25-0662**　※休日・夜間のご連絡は、急患室直通の番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

院　長　木寺　義郎

去る9月22日に創立100周年記念式典を挙行しましたが、皆様のご支援、ご協力で滞りなく終了できましたことに衷心より感謝申し上げます。

1カ月後の10月19日より2日間、第60回共済医学会が虎の門病院の主宰によりホテルオークラ東京で行われました。本学会は全国に展開する33の連合会病院で構成される学術講演会であり、当院からも看護師、薬剤師や検査、事務部門などから6題の演題が発表されました。このように本学会は全職種参加型であり、職員の医療への情熱が学会の活性の源となっています。今でこそチーム医療の重要性が認識され、NST（栄養サポートチーム）のように多職種参加の医療に加算が認められていますが、本学会では半世紀以上も前から職種の垣根を越えて医療に関する研究発表が行なわれていたといえます。

どの学会でも関心の的は特別講演ですが、今回の講師は10月4日に百歳の誕生日を迎えられたばかりの聖路加国際病院の日野原重明先生でした。内容は医療人の持つべきスピリットに関するものでしたが、ジェスチャーを交えて会員に語りかける先生の姿には後進の医療従事者に対する愛情が溢れていました。講演の行われたメイン会場は立錐の余地もなく埋め尽くされ、創立100周年を迎えた当院からの参加者にとっては正しく記念となる講演会でした。

講演中の日野原重明先生

100周年記念講演会（第3回）開催報告　院　長　木寺　義郎

講演中の今泉今右衛門氏

創立百周年を記念した第3回文化講演会が、陶芸家の十四代今泉今右衛門氏を迎えて9月3日に当院大講堂で行なわれました。今泉家は約400年の歴史を持つ“色鍋島”の窯元ですが、鍋島藩の保護を失った明治期には存続の危機さえありました。人間国宝であった先代をはじめとする先人の努力で復興し、当主も“墨はじき”技法を復元して有田焼の真髄ともいえる“白地”を生かした格調高い作品を創作されています。それ故に「伝統は技術の継承ではなく各時代で最高のものを創る姿勢の中にある」という話にも説得力がありました。重要無形文化財総合指定を継承するために職人を束ねる心構えにも言及されましたが、職能集団から成る医療の世界とも相通じるものがあるように思いました。

創立百周年記念式典・祝賀会を終えて　事務部長　中山　浩

去る平成23年9月22日（木）に病院創立百周年記念式典・祝賀会を開催し、無事終了いたしました。

第一部（昼の部）は、朝長市長をはじめ112名の来賓参列の下、無事挙行されました。式典は、尾原理事長、木寺病院長の挨拶、朝長市長ならびに久保医師会長の祝辞に続き、総勢15名による鏡開き、小野呉共済病院長の乾杯と厳かに式典が進み、祝賀会ではプロのJAZZバンドの生演奏の後、佐世保の風景・昔と今の写真がスクリーンに映し出され、最後に佐世保共済病院の紹介プロモーションビデオが上映されました。これらの写真やビデオは、職員の手作り作品であり、参列者から好評を得ました。最後は、丸田常務理事の万歳三唱の後、萩原副院長の含蓄ある謝辞をもって盛会に終わりました。

第二部（夜の部）は、職員、医師OB、共朋会の皆さん総勢300名の参加者があり、木寺病院長の挨拶、共済聖歌隊による旧佐世保共済病院看護婦養成所の歌の合唱、プロのJAZZバンドの生演奏後、浜崎四郎元内科部長が翌23日に100歳の誕生日を迎えられるとの紹介があり、祝賀会に華を添えていただきました。

また、百周年記念事業として募集した病院ロゴマークの発表があり、最後は、懐かしい共済病院の名場面集や職員のBefore／Afterの写真が映し出され、会場は大いに沸きました。

私たちは、縁あって当院の職員として創立百周年という歴史の節目に立ち会うことができました。これはたまたま私たちが職員として在職しているものであり、これまでの歴史を築いてこられた諸先輩方の医療に対する誇り高き情熱に依るところが大きく、これまでのご苦労に対し心から敬意を表すとともに、次の世代に襷をつなぐことが私たちの使命と考えます。

記念式典の様子（第１部）

診療活動の現況　― 病理診断科 ―（2）

烏帽子岳を背景にしたスタッフ

前号のⅠ.細胞学的診断につづいて
Ⅱ.外科病理診断について述べます。

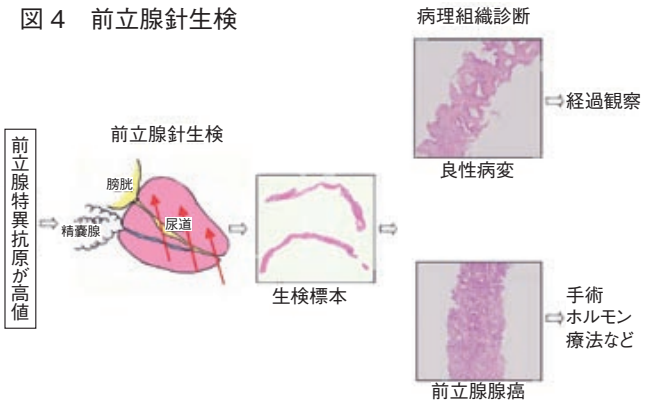
Ⅱ. 外科病理診断

Ⅱ-1. 生検診断：

細胞学的診断のように細胞形態のみから得られる情報には自ずと限界があり、診断確定のため患部の組織を直接切除などにより採取します。採取された組織は病理専門医が確定診断に必要な切り出しを行い、ヘマトキシリン・エオジン染色後に顕微鏡下に確定診断し報告します。確定診断が困難な症例では診断に必要な特殊染色や免疫染色を随時追加して確定診断します。

腫瘍マーカーである前立腺特異抗原（prostatic specific antigen：PSA）の高値の患者さんでは診断目的のため前立腺の針生検が施行されます。採取された組織の病理診断に基づき治療方針が決定されます（図4）。平成22年の前立腺の針生検件数は147例で71例（約48%）が癌と診断されています。

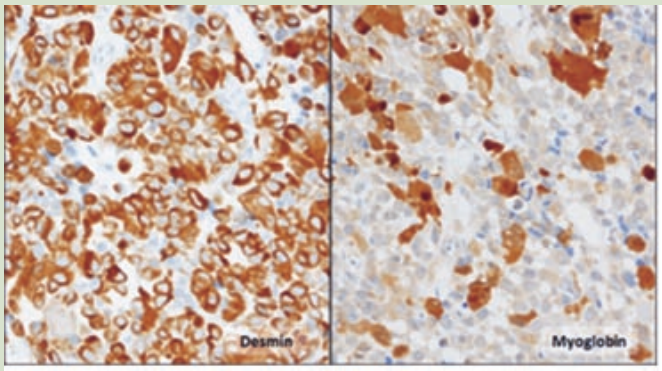
図4　前立腺針生検



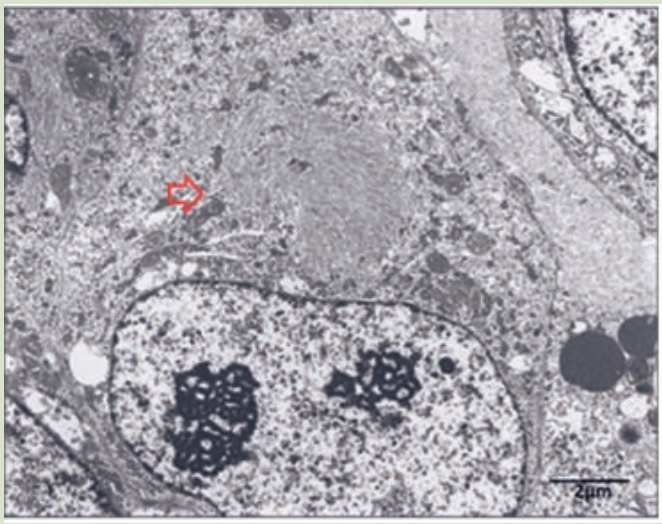
Ⅱ-2. 手術的摘出臓器診断：

手術検体の切り出しは①患部の性格：腫瘍性病変か反応性ないし炎症性病変か。また腫瘍であれば悪性度など、②病期（進行度）の決定：病変の広がりなど、③腫瘍であれば残存の有無や今後の治療方針などを把握するために重要な作業で病理医自らが行います。切り出された組織は基本的にはヘマトキシリン・エオジン染色を施し顕微鏡下に病理診断します。病理診断が困難な症例では補助的診断として免疫染色や電子顕微鏡的検索を加え確定診断をします（図5）。

図5　横紋筋肉腫の免疫染色と電顕写真



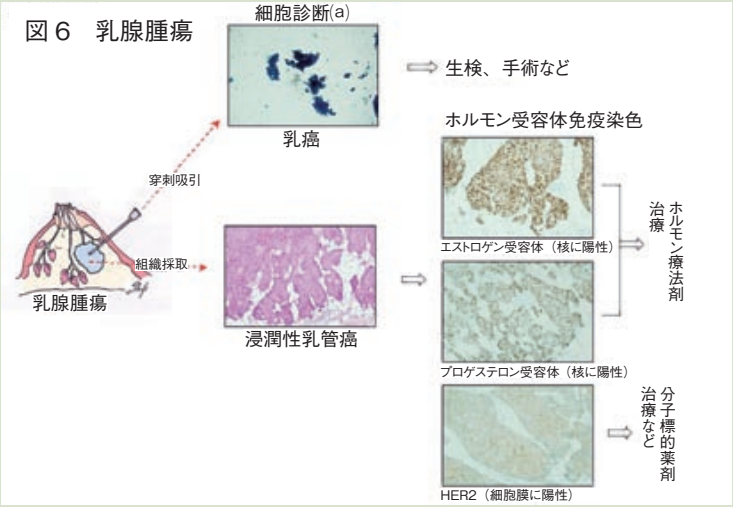
免疫染色で横紋をもつ腫瘍細胞が褐色調に染め出されます



電子顕微鏡写真で横紋（筋線維：矢印）が証明され診断が確定されます

乳腺腫瘍に関してはホルモン療法適応を決めるため全症例でホルモン受容体の判定を免疫組織学的方法で行っています。ホルモン受容体陽性例はホルモン療法の適応が決定されます（図6）。

最近、胃癌もHER2検査の対象となり、HER2陽性例は分子標的薬剤と抗癌剤の併用により治療効果を高めることが報告されています。当院でもある胃癌組織にHER2検査を施行し、分子標的薬剤の適応について情報を提供しています。（図7）



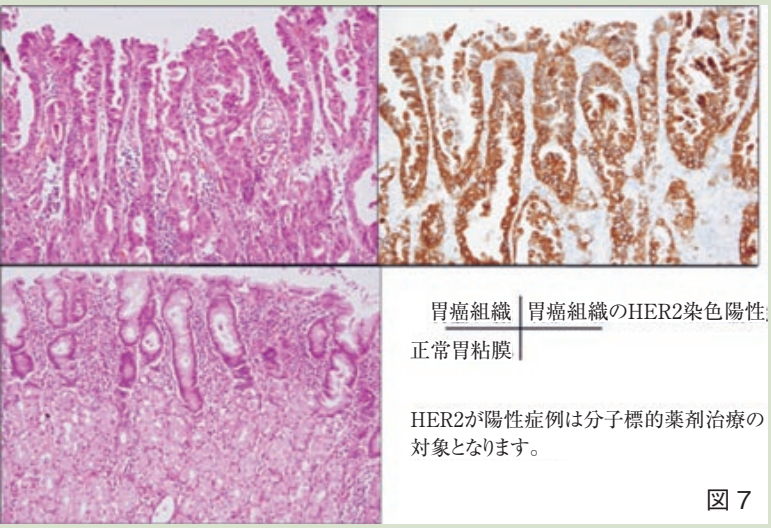


図７

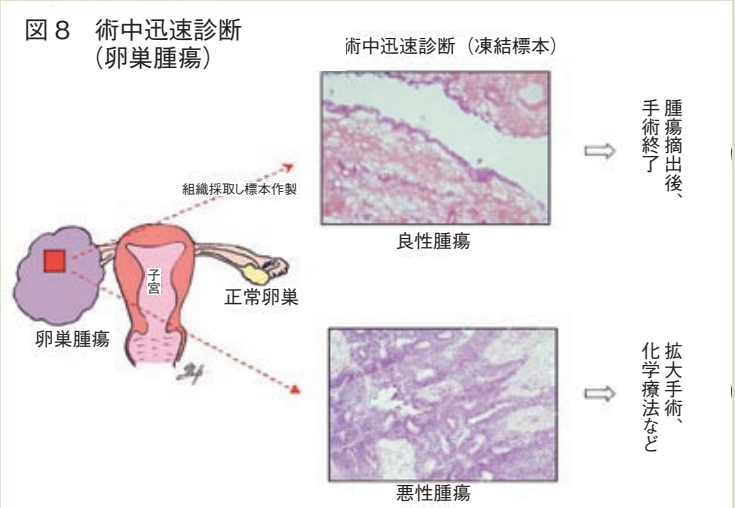
Ⅲ．術中迅速診断

術式を決定する重要な業務のひとつとして、手術中に患部の組織を採取し短時間内に標本を作製し、良悪性の診断や悪性細胞残存の可能性の有無を診断します。採取した組織を瞬時に凍結し標本作製による人工産物が生じる場合が多く標本作製や診断には細心の注意が必要となります。術中迅速診断の結果により例えば悪性腫瘍では拡大手術など治療方針が決定されます（図８）。

平成 22 年の卵巣腫瘍は 151 症例で 117 症例（約 77%）に凍結診断が施行されました。悪性卵巣腫瘍は 18 例（約 15%）で拡大手術や化学療法などが追加されました。

Ⅳ．剖検

ご遺族の承諾のもと、不幸にして病気で亡くなられた患者さんの剖検から肉眼的診断および病理組織学的診断をおこないます。剖検から生前の臨床診断、進行度、



治療の適正性、治療効果などを判断し、死因などを含めた貴重な情報が得られます。

現在、当院では常勤病理医１名、非常勤病理医1名、細胞専門医３名、細胞検査士３名で病理業務をこなしています。提出された検体は迅速適切な処理、精度の高い細胞学的、病理組織学的診断を目指し努力しています。

スタッフ：所属学会・認定

井関充及（病理診断科部長）：
　日本病理学会評議員・認定病理医、病理専門医研修指導医、日本臨床細胞学会評議員･細胞診専門医、日本神経病理学会評議員、国際アカデミー病理学会

木寺義郎（病院院長、婦人科）：
　日本臨床細胞学会細胞診専門医

鶴地伸宏（婦人科部長）：
　日本臨床細胞学会細胞診専門医

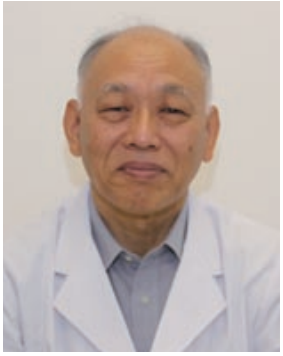
林　洋子（長崎大学第1病理）：
　日本病理学会、認定病理医

川﨑辰彦（臨床検査技師）：
　日本臨床細胞学会細胞検査士、国際細胞検査士

田中義成（臨床検査技師）：
　日本臨床細胞学会細胞検査士、国際細胞検査士

久保　綾（臨床検査技師）：
　日本臨床細胞学会細胞検査士、国際細胞検査士

新採用医師の紹介



健診センター医師
赤司（あかし）　富紗雄（ふさお）

●出 身 地：佐賀県佐賀市
●出身大学：昭和47年　熊本大学卒業
●主な職歴：
　昭和47年　関東逓信病院
　昭和55年　社会保険三島病院
　昭和59年　中駿赤十字病院
●所属学会：日本外科学会、日本整形外科学会、日本リハビリテーション学会（日本運動器科学会）

御覧の如く馬齢を重ねただけの老人です。本年11月よりお世話になることになりました。
何も出来ないと思いますが、よろしくお引き回しをお願い致します。

放射線科医員
村木（むらき）　宏一郎（こういちろう）

●出 身 地：
　鹿児島県
●出身大学：
　平成19年
　久留米大学卒業
●在籍医局：
　久留米大学
　放射線医学教室
●専門領域：
　画像診断

佐世保バーガーを食べ過ぎて、太らないように体調管理に気を付けます。

HCU(高度治療室)が開設されました　HCU 管理責任者 麻酔科部長　深野　拓

平成 23 年 10 月 1 日より 5 階南病棟の中に、HCU（High Care Unit）が開設されました。従来、重症の患者さんは内科系は 5 階北病棟、外科系は 5 階南病棟で治療に当っていましたが、多臓器合併症のある患者さんなどにも対応できる、より特化した部署として発足することとなりました。ベッド数は 2 床、スタッフは 7 名と小さな部署ですが、来年度に開始予定の ICU（集中治療室 8 床）に向けて発展していければと考えています。皆様方のご協力をお願いします。（ちなみに 10 月の延べ患者数は 50 人、重症基準クリア率は 100％でした。）

深野部長（マスク）を囲む看護スタッフ

「YOSAKOI させぼ祭り」救護班に参加して　医療連携室 看護師長　加藤純子

（左）布村先生（研修医）（右）加藤師長
（中央）出口看護師

今年も佐世保の秋の祭典「YOSAKOI させぼ祭り」が 11 月 23 日（土）24 日（日）に盛大に繰り広げられました。あいにく時折雨に打たれながらのステージとなりましたが、踊り子のみなさんの熱い血潮みなぎる大舞踊会でした。

その大会を影で支えていたのが、我が佐世保共済病院救護班です。医師 2 名（研修医）看護師 4 名の協力隊は、いつ救急救命の指令が来るかと待ち構えていましたが、蓋を開けてみれば「踊りすぎて足が痛いんですけど～」「赤ちゃんのミルクあげるので場所貸して下さい」という程度でした。

思う存分楽しい踊りを見て、屋台の熱々の焼きそば、スウィートコーン等々を味わいとても楽しい 1 日でした。あなたも来年は参加してみませんか。

演舞中の当院職員

地域医療連携室より Part.14

ごとう耳鼻咽喉科・整形外科

〒859-5153 長崎県平戸市戸石川町964
TEL 0950-22-4377

耳鼻咽喉科 後藤 弘毅 先生
整形外科 後藤 将 先生

ごとう耳鼻咽喉科・整形外科医院の後藤弘毅です。平成13年から16年まで共済病院に耳鼻科医長として勤務しておりました。父・後藤将は昭和42年から53年まで整形外科部長として勤務した後、平戸にて「後藤整形外科医院」を開業しました。祖父の顧三郎は昭和初期に副院長（外科）として勤務していたので、共済病院に都合3代に渡ってお世話になったこととなり御縁を強く感じています。また、父・私・私の子供は幼少時に院内舎宅で過ごしたので、共済病院は思い出の詰まった懐かしい場所になっています。

平成17年に平戸に帰り、「ごとう耳鼻咽喉科・整形外科医院」と名称を変え、現在に至っています。

後藤弘毅 先生　後藤 将 先生

耳鼻科では一般診療のほか処置用喉頭内視鏡やDPOAE（耳音響放射）、超音波検査、県北初の補聴器適合検査を導入しています。耳鼻科関連の小手術も行い、離島・僻地の患者さんの負担を減らすように努力しています。しかし、高度な手術や入院の必要な疾患、突発性難聴の高気圧酸素治療は共済病院にお願いし、垣内先生・西嶋先生に大変お世話になっています。

整形外科は現在入院をやめ、外来診療のみとなっています。父は70歳代半ばを過ぎましたが、元気に診察しております。

今後もよい病診連携を保ちつつ地域医療に携わっていきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

年末年始の当直体制

	12／29(木)	12／30(金)	12／31(土)	1／1(日)	1／2(月)	1／3(火)
日　直 8:30～ 17:30	外　科	麻酔科	耳鼻咽喉科	麻酔科	整形外科	二次待機日 (内科・外科)
当　直 17:30～翌8:30	皮膚科	皮膚科	放射線科	麻酔科	整形外科	二次待機日 (内科・外科)

編集後記

今号の表紙絵画「共済百年」は、当院の100周年を記念して市内在住の画家　馬場忍先生より寄贈していただいたものです。院内には、「共済百年」以外にも馬場先生の作品を多数展示しております。皆様もご来院の際には、ぜひご覧ください。

編集委員　畑　宏明

佐世保共済病院　外来診療担当表

平成 23 年 12 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部　長	福成　健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医　員	吉原　万貴			●		●						腎臓疾患
	〃	陣内　　寛	●						●		●		腎臓疾患
循環器内科	部　長	金谷　誠司					●		●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山　晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	大野　聡子									●		循環器疾患
	〃	西田　憲史	●		●								循環器疾患
神経・漢方内科	医　長	樋口　泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
呼吸器内科	非常勤医	溝口　祐輔									●		呼吸器疾患
	〃	浅井友香里					●						呼吸器疾患
消化器センター			● 井原		● 冨﨑		● 外科		● 外科		● 井原		（診療内容）上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 （検査内容）胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
外　科	外科顧問	松永　　章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	診療部長	井原　　司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部　長	橋本　光生			●						●		消化器外科・肝胆膵臓外科
	〃	原田　　洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	冨﨑　真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医　長	坂下　英樹	●				●						血管外科・一般外科
	医　員	福田　勇人	●						●				消化器外科・一般外科
	非常勤医	川畑　方博			●								肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
	〃	武田　雄二									●		呼吸器外科　（第 1・3・5 週のみ）
乳腺外来			● 外科		● 坂下		● 原田		● 原田		● 福田		※乳癌検診は、10 時までに受付を行って下さい。（要予約）
小 児 科	部　長	岡　　尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	非常勤医	土居　　浩	●		●								小児一般
	乳　児　健　診					●							火曜　午後 1 時から診察開始
	慢　性　外　来							●					水曜　午後 2 時から診察開始
	喘　息　外　来									●			木曜　午後 2 時から診察開始
脳神経外科	部　長	川口　　務	●		▲		●		●		●		脳神経外科　▲は 10 時 30 分までに受付を行って下さい。
	頭痛外来（完全予約制）			●	●	●		●					月曜、水曜：午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分 火曜：午前 11 時～午後 0 時 30 分、午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分
整形外科	副院長	萩原　博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部　長	久我　尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医　長	花田麻須大	●						●		●		手の外科、マイクロサージェリー
	医　員	水城　安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	〃	志田　義輝	●				●		●				整形外科一般
	〃	橋川　和弘	●		●						●		整形外科一般
	〃	石橋正二郎			●		●		●				整形外科一般
皮 膚 科	医　長	大津　正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医　員	橋本　安希	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術（火・水・金の午後）
泌尿器科	診療部長	山田　　潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部　長	江口　二朗	※		●				●		●		男性不妊（江口部長）▲の診察は第 2 週のみ 10 時 30 分からです
	医　長	中村　貴生	※		●		●		▲				※：第 2・4 週（江口部長）第 1・3・5 週（中村医長）が診察を行います
産婦人科	院　長	木寺　義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症･内分泌疾患
	部　長	鶴地　伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日　■：産科診療日
	医　員	田中　章子	●		●		■				●		▲の診察は 10 時からです（病棟回診後に診察開始のため遅れます）
	〃	佐藤　由佳	●■		▲				●		■		
眼　　科	医　長	原　　潤	●		●	※	●	※	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術
	医　員	岡村　寛能	●		●	※	●	※	●		●		翼状片手術、レーザー光凝固術、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など
													※：火・水曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）
耳鼻咽喉科	医　長	垣内　康徳	●		▲		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医　員	西嶋　利光	●	●	▲		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頚部などの手術
													▲は 10 時までに受付を行って下さい。
放射線科	部　長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・ お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査 小佐々医員は 9/30 で退職予定です
	医　員	江畑　智広											
	〃	村木宏一郎											
麻 酔 科	部　長	深野　　拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来 月～金午後は手術麻酔
	医　員	木本　文子	●				●				●		
	〃	矢野倫太郎			●				●				
	非常勤医	吉村　真紀											
	〃	別府　幸岐											
	〃	志田知佳美											
病理診断科	診療部長	井関　充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯　科 口腔外科	医　長	角町　鎮男	●	●	●	●	●	●	●		●	●	歯科・口腔外科（紹介患者のみ新患受付） 顎変形症（外科的矯正）・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
	医　員	矢内　雄太	●	●	●	●	●	●	●		●	●	
健診センター	医　長	原　　敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										